

令和6年第7回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和6年7月24日(水)
午後1時30分～午後4時40分
2. 開催場所 柏原市役所 2階 多目的室2-1、2-2
3. 出席した委員
教 育 長 新 子 寿 一
教育長職務代理 田 中 保 和
委 員 近 藤 温 子
委 員 西 村 弥 生 子
委 員 太 田 貴 之
4. 出席した職員
教 育 部 長 桐 藤 英 樹
教 育 監 安 田 典 子
指 導 課 長 小 室 吉 昭
指 導 主 事 武 田 真 司
指 導 主 事 片 岡 洋
指 導 主 事 川 口 裕 之
指 導 主 事 政 埜 敏 男
指 導 主 事 浦 瀬 奈 都
事務局教育総務課 塩 谷 行 由
5. 議事案件
議案第18号 令和7年度柏原市立小学校使用教科用図書の採択について
議案第19号 令和7年度柏原市立中学校使用教科用図書の採択について

6. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長：それでは、令和6年第7回定例教育委員会会議を開会します。本日の会議録署名委員は、西村委員にお願いいたします。次に、事前に送付させていただいておらず会議録につきまして、ご意見等ございませんか。

委員全員：なし。

新子教育長：それでは、会議録は承認することにいたします。本日の議事に入ってまいります。本日の議事案件は2件です。本日の議案であります教科用図書の採択については、時間が非常にかかりますので、委員及び関係課のみで進めてまいりたいと思います。また、かなりの時間をかけて一つひとつ選定していきますので、本日で終了しない場合、別の日程で、臨時の教育委員会会議を開くこともあります。委員の皆さま、よろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：ありがとうございます。それでは職員を入れ替えを行いますので、少々お待ちください。

(出席職員入れ替え)

新子教育長：それでは、審議の方に入らせていただきます。まず、議案第18号、令和7年度柏原市小学校使用教科用図書の採択についてより審議をさせていただきます。指導課長の方から説明お願いをいたします。

小室課長：よろしくお願いたします。まず、本日の資料を確認させていただきます。本日の資料ですが、次第、それからホッチキス留めの資料、令和7年度使用教科書の採択事務について通知の写し。次に、令和6年度使用小学校教科用図書一覧、その裏面に令和6年度使用中学校教科用図書一覧。続いてホッチキス留めの資料、令和7年度使用柏原市立中学校教科用図書の選定について答申の写し。さらに、令和7年度使用教科用図書展示会ご意見。最後に、ホッチキスで留めました教科ごとのメモ用紙の6点をクリップ止めにしております。ありますでしょうか。もしなければ仰ってください。中学校教科用図書につきましては、後ほどご審議いただきます。

小学校教科用図書の採択については、資料にございます「令和6年3月付文科省通知令和7年度使用教科書の採択事務処理について」をご覧ください。その中の「1. 各学校段階における令和6年度の教科書採択について(1)小学校用教科書の採択について」の中で、次のように述べられております。「令和5年度に採択したものと同一の教科書を採択しなければならないこと。ただし、無償措置法第14条及び無償措置法施行令第15条の規定に基づき無償措置法施行令、規則第6条各項に挙げる場合は、異なる教科書を採択することができること。」したがって、本市においては、令和5年度採択における調査研究内容及び学校と子供たちの実態を鑑み、クリップ止めの資料にもあります「令和6年度使用小学校教科用図書一覧」の通り、現在使用の教科書をそのまま使用することが望ましいと考えております。ご審議の方、よろしくお願いたします。

新子教育長：ありがとうございました。今、説明にありましたように、昨年度採択をいたしました次年度の小学校の教科書についてはそのまま継続というかたち、これが望ましいとございますが、ご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、ありがとうございます。異議なしということで、その旨で指導課、よろしく願いいたします。

小室課長：ありがとうございます。議案第18号令和7年度柏原市立小学校使用教科用図書の採択については、今、原案通り承認することといたしました。

続いて、議案第19号令和7年度柏原市立中学校使用教科用図書の採択についてであります。去る5月13日に教育委員会から柏原市小学校中学校教科用図書選定委員の委嘱を行いまして、委員の皆様を選定について諮問させていただいたところであります。本日、その答申をいただくことになっておりますので、まずはその答申を教育監からよろしく願いいたします。

安田教育監：それでは、諮問いただきました件について答申をいたします。令和6年5月13日付柏教委第305号で諮問がありました令和7年度使用柏原市立中学校教科用図書の選定について答申いたします。よろしくお願いいたします。

新子教育長：ありがとうございます。選定委員会より答申をいただきました。概要の説明を許可よろしく願いいたします。

安田教育監：はい。では、説明させていただきます。本日お渡ししております資料に答申の写しをつけております。その2ページ目以降が答申の内容でございます。この内容につきましては、選定委員会における審議により作成しております。先ほど教育長より説明がありました通り、5月13日にまず選定委員会を立ち上げました。専門的で適正な調査を行うため、各教科につき3名の調査員を置いて調査研究を行い、その結果を選定委員会に報告いただきました。

また、柏原市の教育研究会と各中学校からの意見も報告いただき、選定委員会の資料といたしまして、あわせて6月6日から7月3日にかけて教科書の法定展示と法定外展示を行いましたところ、延べ9名の閲覧者があり、その方々からご意見を頂戴いたしましたので、それにつきましても選定委員会の参考資料とさせていただきます。

そして、7月4日に開催されました第2回選定委員会では、事務局による説明の後、委員全員で全ての教科用図書について審議を行いました。教育委員の皆様におかれましては、事前に、全発行社の教科書、教科書会社作成の教科書編集趣意書、大阪府教科用図書選定審議会の資料、柏原市教科用図書調査員からの報告書及び各教科研究部、各校からの意見書に目を通していただいていると存じておりますが、本日は、選定委員会での意見も含めた事務局の説明をお聞きいただいた後、採択に関して審議を行っていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

新子教育長：ありがとうございます。その他、指導課長より補足がありましたらお願いをいたします。

小室課長：はい。これからのご審議の資料としましては、ホッチキス留めの令和7年度使

用柏原市立中学校教科用図書の選定について、答申の写し及び教科書センターで閲覧した市民の意見書をまとめた資料と教科書見本をお1人につき1セット用意しております。

また、先日すでにお渡ししておりますが、調査員からの報告書、柏原市教育研究所及び各学校からの意見書、大阪府教科用図書選定審議会の資料を綴ったファイルも本日お持ちいただいておりますので、教科ごとのメモ用紙と共に必要に応じてご活用ください。

教科書センターご意見については後ほど様式「教育委員会議教科書センターご意見」に押印あるいはサインをお願いいたします。

それでは、これより事務局から選定委員会での意見等を含めて、教科ごとの各者の説明をさせていただきます。その後にご審議いただきたいと思っております。なお、発行者につきましては、目録にあります略号で呼ばせていただく場合もございます。

新子教育長：ありがとうございました。それでは、選定の方に入ってまいりたいと思いません。まずは国語です。武田指導主事から説明よろしくをお願いいたします。

武田指導主事：それでは、国語について説明いたします。国語につきましては、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」についてです。大阪府の選定資料によりますと、4者ともに、「生徒にとって興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている」と書かれています。

光村図書の2年生140ページをご覧ください。調査員から「古文を捉えるための歴史的背景を捉えやすいように工夫されている」との意見や「表紙が滑りにくく加工されており、音読の時などに持ちやすいと思われる」との意見がありました。

教育出版の1年生6ページをご覧ください。部会より「『学びナビ』が先にあるので、学習の見通しが持てる」との意見がありました。

次に「人権の取扱い」についてです。大阪府の選定資料によりますと、4者ともに、「すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいよう、フォントや文字のレイアウトや図等の配色などに配慮されている」と書かれています。

次に「内容の程度」です。東京書籍の1年生297ページをご覧ください。学校より「デジタルコンテンツがあり、イメージしやすい」との意見がありました。

三省堂の1年生16ページをご覧ください。学校より「『思考の方法』や『三角ロジック』など、情報の整理・分析や論理的思考力を育む内容が充実している」との意見がありました。次に「組織・配列」についてです。大阪府の選定資料によりますと、4者ともに、「教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている」と書かれています。

教育出版につきまして、学校より「字が読みやすい。行数を数える際の目印が1行単位で書かれている。著者紹介の写りがカラー」との意見がありました。

光村図書につきまして、1年生の28ページをご覧ください。学校より「『学びへの扉』などの学習の手順を示すページが横書きになっており、1ページに収まるようになっていく」との意見がありました。次に「学びの工夫」についてです。大阪府の選定資料によりますと、4者ともに、「各学年では、本や資料、インターネットなど様々な情報の特

徴を理解し調べ、表現するといった情報機器や学校図書館を活用する活動ができるよう工夫がされている。また、読書や情報に関する単元が随所に配置されており、教科横断的な学習も含め、学校図書館等の機能を利活用し、生徒の言語能力や情報活用能力等を育成することができるよう工夫されている」と書かれています。

東京書籍の1年生16ページをご覧ください。調査員より「1年生の初めの教材が、文字も大きく中学校の学びへの導入としてよい」との意見がありました。

三省堂につきまして、学校より「大きめの文字、カラーが統一されている。古典の現代語訳が見やすく、資料も見やすい」との意見がありました。次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。

光村図書につきまして、学校より「デジタルコンテンツ、個別最適な学びの実現に適している。書き込めるデジタルコンテンツがある」との意見がありました。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。東京書籍の1年生242ページをご覧ください。調査員より「小学校の復習をする教材がある」との意見がありました。

光村図書につきましても、1年生308ページ、同じく調査員より「小学6年生の学びを復習する教材がある」との意見がありました。

最後に、選定委員会での審議について報告いたします。光村図書について「古典は原文と現代語訳が分かりやすい」や「単元構成について、学年や学ぶ時期が考えられている」との意見があり、「柏原市の教育にあっているのではないか」という意見がありました。

また、東京書籍については、「古典について、文章ごとの現代語訳が分かりやすい」という意見が上がりました。以上で国語についての説明を終わります。

新子教育長：はい、ありがとうございます。まず、事務局から、選定に関して説明がございましたが、委員の皆様方、いかがでございましょうか。4者があがっておりますが、ご意見等ありましたらよろしくお願いします。

田中委員：小中一貫と言うことを含めまして、小学校からのつながりを見ると、東京書籍と光村図書が他より優れているかなと思います。東京書籍のほうは、1年生の初めの教材が字も大きくてつながりやすく、良い教材を使っていると感じます。

また、古文の現代語訳の比較がわかりやすい。これは光村図書の方も、同じく工夫されており甲乙つけ難いと思います。あと、資料編や学び方や手引きといったところを見ると、光村の方が、東京書籍よりも、若干優れているのではないかなと思います。私からは以上です。

新子教育長：ありがとうございます。はい、近藤委員お願いします。

近藤委員：東京書籍は本が薄めなのが重くなくていいです。教材終わりの手引きが丁寧で学習しやすいです。各学年の未来への扉は、現代の社会課題をテーマに取りあげられていました。日本語探検のページは、キャラクターの掛け合いでのストーリーになっていて、わかりやすいです。文法ページのQRコードから文法ゲームができます。バラエティに富んだ楽しい内容で問題数もたっぷりあり、しっかり覚えられそうです。

三省堂の各学年、情報の教材は、まず漫画ページでポイントを知り、資料を読み取り、

考えをまとめて、伝える、と手順が丁寧です。テーマも社会の課題についてで、考えが深まるような内容です。歌の言葉として各学年、最近のヒット曲の歌詞が載っています。どれも寄り添って応援してくれる内容の曲です。活字になって、あらためて見て、言葉の力を感じられます。

光村図書は説明でもありました学びの扉のページが横書きで、上から順に考えていく方式が、整理されていてわかりやすいです。古典のページは筆書きのようなフォントが効果的です。それと絵の資料が大きく、時代背景の紹介など古典の内容が充実しています。詩のページは余分なものがなく、詩の世界に入っていくやすい印象です。とても良いと思います。それから語彙ブックが付いています。サイズと紙質が変えてあり、開けやすくなっています。詩や小論文等の表現に行き詰まったときに助けてくれそうです。

教育出版、中学生の日常の一場面を描いた表紙や、単元の扉、イラストが素敵です。短歌の教材、穂村弘さんの解説がわかりやすいです。本に厚みがあってちょっと重いです。私は東京書籍か光村図書が良さそうだなと考えています。

新子教育長：ありがとうございます。はい、西村委員お願いします。

西村委員：それぞれの教科書が、多彩な文章を掲載されていて、思わず手に取って読んでしまう感じだったのですが、文法の説明がどんなふうにしてあるかとか、それぞれ言葉の表現の膨らみがどうだろうとか、その点を注目して見てみました。

東京書籍は未来への扉で、使い方が比較的端的に表されていて、国語ってこういう勉強するのだということが、一番わかりやすいと感じました。

光村図書は、文法の説明が非常にわかりやすいと感じました。読み取る時にやはり文法はある程度わかっていないと、読解ができないと思いますし、先ほどありました、語彙ブックも、他の勉強にも役立つのではないかなと思います。あと、光村のいいなと思ったところは、各単元の扉に、一日の時間帯を表す言葉が書いてあって、黎明とか白昼とか黄昏とか、言葉の味わいが深く感じられるような教科書は仕上がっているなと思いました。

教育出版は、わりと視覚的な写真とかイラストが大きいなと感じました。その分ちょっと字が小さめでしたけど、字体が薄めなので、あまりうるさくない印象でした。写真とイラストが大きく、ちょっとインパクトのある写真もあって、広島の写真とかこんなに大きくなっていいじゃないかと思うぐらい、少し怖いなという印象を持つものもありました。文法の説明を文章で説明する部分が多くて、わかりにくいと感じました。

三省堂は他の教科書もそうなのですが、色合いがとても綺麗で、見せるということがお上手だなと思いました。説明は上手にされていると思いますけども、その点で言うと先ほど言いました光村図書がいろんなバランスが取れていていいのではないかなと思います。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：はい、重なるところもあるかと思いますが、子供たちが文字に親しみ、柏原市は読解力、読み解く力がなかなか課題なので、そういうところを高めていただけるような教科書がいいのかなというように見させていただきました。

教育出版も三省堂も、写真とイラストが良く、表紙の裏の詩がすごく、教育出版などは国語の学びに誘うような感じがして、すごくいいなと思いましたし、三省堂も緑黄色社会の歌の歌詞などがあって、生徒の興味を引くなと言う印象を受けたのですが、配列とか内容的には、やはり東京書籍か光村図書なのかなというふうに思いましたので、その2つについて、いくつか述べさせていただきます。

東京書籍ですが、最初の教科書の表紙裏の詩が、印象的でいいなというふうに思いました。あと読書のための本の紹介、読書案内はどの教科書にもあるのですが、読書案内が充実していると思いました。先ほどありましたが、B4の折り込みのページは、教科書は折り込みがあると、くしゃくしゃになったりするので、それはどうなのかなと、ちょっと思いました。

資料編は、東京書籍は充実しているなというのと、これも出ましたけども、他社に比べてページ数が少ないというのも特徴で、少し軽いのかなというふうに思いました。色使いが見やすく配色されており、教科書が全体的に、見た目がすっきりしている印象を東京書籍は持ちました。

光村図書ですが、これも読書案内が、「本の世界を広げよう」等で丁寧になされていると感じました。表紙の質感のことが出ましたけども、他社と違うので、すごく持ちやすいという意見もあると思いますけど、私はちょっと違和感を感じたので、みんながこの表紙がいいかというのは、意見の分かれるところなのかなというふうに思います。

光村図書も表紙の裏の詩が良い詩で、国語の学習に興味を持つきっかけになるというふうに感じました。「学びを深める」で、小学校6年生の漢字が出てくるので、小学校との連携も感じられます。これも先ほど出ましたけど、語彙ブックで状況を表す言葉など、いろいろな場面に応じた語彙の例があるのは、やはり言葉と生活の連携にとっても大切なことだと思います。

あと、資料編も光村図書は充実していると感じました。国語の力試しがタブレットでできるというのもいいと思います。また、現在使っている教科書なので、教員にとっては扱いやすいので、東京書籍と光村図書を比べたときに、光村図書がいいのかなと個人的に思いました。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。4者あがっていて、それぞれに、良いところを言っていたのでありますが、東京書籍、光村図書というのが皆さん、ご意見としてはある。その中で、やはり語彙ということですね、語彙ブック等、今、子供たちの語彙ということもよく言われていますけれども、そういったものも、光村図書がよく出ていると言う部分、一社に絞るということで、光村図書に決めさせていただこうと思いますが、よろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、それでは国語は光村図書でよろしくお願ひします。続きまして、書写につきまして、武田指導主事、よろしくお願ひします。

武田指導主事：それでは、書写について説明いたします。書写につきましては、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」についてです。大阪府の選定資料によりますと、4者ともに、「1年では字形を整え楷書や行書で書く、2年では目的や必要に応じた楷書と行書の使い分け、3年では手書き文字やさまざまな字体の特徴を捉え目的に応じて文字を書く等、文字を効果的に書くことについて発達段階を考慮した内容が取りあげられている」と書かれています。

次に「人権の取扱い」についてです。大阪府の選定資料によりますと、4者ともに、「人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている」と書かれています。

光村図書の88ページをご覧ください。調査員より「マンガで解説するなど、文字を読むことが苦手な生徒にも理解しやすくする工夫がなされている」との意見がありました。次に96ページをご覧ください。調査員より『ユニバーサルデザインフォント』について解説されていて、これからの社会に必要な知識の学習がなされている」との意見がありました。

三省堂の12ページをご覧ください。調査員より「字形の整え方と筆使い」のページ等、配色やレイアウトを工夫して非常にわかりやすくなっている」との意見がありました。

次に「内容の程度」です。光村図書をご覧ください。学校より「お手本が大きく（半紙原寸大）、見やすい。どこに注目すればいいのか朱墨も使いながら、わかりやすい」との意見がありました。

東京書籍の44ページをご覧ください。学校より「書写テストの項目があることで、学びをテスト形式で振り返ることができる」との意見がありました。

次に「組織・配列」についてです。教育出版の86ページをご覧ください。調査員より『さまざまな書く場面』では、違いを書き込めるようになっている。との意見がありました。

光村図書の98ページをご覧ください。調査員より「総合的な学習の時間（防災学習）と関連させて、教科横断的に学ぶことができる」との意見がありました。

次に「学び方の工夫」についてです。大阪府の選定資料によりますと、4者ともに、『楷書』については、基本の点画の書き方と筆使いを、朱筆等を用いてわかりやすく示している。『行書』については、段階を経て学べるよう工夫されている」と書かれています。部会より、4者ともに、「願書の書き方等、将来に役立つ知識があり活用しやすい」との意見がありました。

東京書籍について、調査員より「巻頭に文字を書くことの意義や『書写の学習の進め方』があり、見通しを持って学習しやすい」との意見がありました。

次に「補足的な学習・発展的な学習」についてです。教育出版について、54ページ「活字について知ろう」、100ページ「多様な表現による文字」をご覧ください。調査員より「書体の使い分けなど文字を書くことについての理解を深める工夫がされている」との意見がありました。

三省堂について、調査員より「巻末に、常用漢字の『楷書・行書一覧表』が示されて

いる」との報告がありました。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。調査員より4者とも「学習に入る前に、小学校の時に学習した姿勢や筆の持ち方について復習することができる」との意見がありました。三省堂の6ページ、教育出版の8ページ、光村図書の30ページ、東京書籍の6ページです。

最後に、選定委員会での審議について報告いたします。光村図書について「見開きでお手本とポイントがあり、お手本も大きく取り組みやすい、運筆が載っている」との意見があり、「柏原市の教育にあっているのではないか」という意見がありました。

また、三省堂については、「字を書くことが苦手な生徒でも、取りくみやすい課題の量である」という意見が上がりました。以上で書写についての説明を終わります。

新子教育長：はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。はい、田中委員お願いします。

田中委員：順番にいきますと、東京書籍は、文字の移り変わりなどがわかりやすく、身の回りの文字を興味深く体験できる工夫がされているかなと思います。

三省堂は、巻末などにもありますけれども、行書の書き方が優しくて入りやすいかなと思います。

教育出版は、歴史上の人物の文字が面白いとか、あるいは身の回りのものに目を向けることが楽しい構成になっています。

光村図書は、漢字の分解、文字の歴史とか、身の回りの文字に対する考え方について、わかりやすく、書写ブックという別冊が、自学自習とか字のことも含めて、使いやすくていいのではないかなと思います。

全体を見て、光村図書がいいのではないかなと思っております。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。はい、近藤委員お願いします。

近藤委員：三省堂は、本が薄くてコンパクトなのが扱いやすいです。それでも、硬筆の書き込みページが多くあるところが良いと思いました。

光村図書は毛筆のお手本が数多く載っています。行書の説明のページは、並んで楷書も載せてあるので、比べてイメージしやすいです。シンプルな配置と色分けでページが見やすく工夫されています。コラムや字の練習以外のページも楽しく、わかりやすくデザインされていると感じます。105ページのコラム、自分らしい文字のページがとてもいいです。それから付いている書写ブックは、紙質が書きやすそうだなと思いました。

三省堂か、光村図書のいずれかが良いのではないかなと思います。

新子教育長：はい、ありがとうございます。はい、西村委員お願いします。

西村委員：あらためて「この時代に書写って何で勉強するのか」ということを考えながら少し見てしまいました。その中でも、やはり日本語としていろいろな字体があって、それぞれで表現するのはやっぱり日本語って、綺麗で素晴らしい文化なのだなどあらためて感じさせてもらいました。

光村図書は内容が複雑すぎなくて良いと思いましたし、楷書と行書があって、それこ

そ先程の行書を学ぶ意味はなんだろうと、そこで考えたのですが、その題材があまり多すぎなくて良かったかなと思いました。コラムが、興味深い内容で、書写を学ぶ理由とよくつながったと感じました。書写ブックで硬筆の練習が別でできるのは、いいかなと思いました。

三省堂は毛筆が少し少なめで、それは少ない分量でしっかりやったらいいかなと思うのですが、私はちょっと行書の練習が多いかなと感じてしまって、そんなにやる必要あるかなと正直思っていました。

東京書籍は教科書らしいというか、いろいろバランスが取れているところはあると感じましたし、目当てがわかりやすいと思います。

教育出版は少し教科書が大きいのですが、特に12ページにあった、書写を通して学んでいくことというところが、これを見て、書写の教科書もいるんだなと思いました。大きい分情報量が多いように見えますけど、ちゃんと視覚的な材料も多くて悪くない、読みやすい教科書だなと感じました。

国語と一緒に、全体的なバランスを考えると、光村図書が一番学びやすいというふうに感じました。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。はい、太田委員。

太田委員：教育出版、今も出ましたけど、サイズがちょっと大きいんですけども、この表紙の部分は、何か書写の歴史を感じさせるような日本の伝統文化を感じることができるという雰囲気があって、すごくいいなと思いましたけども、大きさはこのサイズにするメリットが、あまりちょっと感じられなかったのが、他のサイズと一緒にでもいいのかなというのは思いました。あと、最後についている常用漢字表が部首別になっているので、少し調べにくいのかなと、調べたい文字が探しにくいのかなというのは思いました。

東京書籍ですけども、巻末の書写の活用ブックは実生活でも結構活用できるように考えられているかなと。QRコード、東京書籍は、どの教科書もそうですけど、QRコードでの動画が充実しているなと思いました。

三省堂は今まで使っていた教科書なのですが、他の教科書と特徴はそれほど変わらないのかなと。編修趣意書を見たときに、社会生活に生きる書写の力という言葉が出てきているのですが、それに関してはすごく大切なことだなと、そういう意図で作られているのだなというのは感じました。

光村図書ですけども、これも話が出てきていますけども、硬筆練習ブックで教科書に書き込むことができたり、葉書がついていたり実用的なのかなと思いました。書く楽しさや達成感を感じられるように意図して作られているのだろうなと思います。また日常の生活で書写が必要なのだということを、意識されて構成されている。あと1年生2年生3年生の始まりの表紙が色分けではっきりしていて、学年の始まりが意識しやすく、配色されているというふうに思いました。

光村図書が、私もいいかなというふうに思いました。

新子教育長：ありがとうございます。皆様のご意見をいただきまして、4社とも小学校の復習を丁寧にといいところに変わりはないのですけれども、小中一貫というところで

みますと、小学校が光村図書を継続しておりますので、皆さんのいただいたご意見を総括いたしますと、光村図書というところでございますので、光村図書でよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、ありがとうございます。それでは続きまして英語です。片岡指導主事、よろしく申し上げます。

片岡指導主事：それでは、英語について説明いたします。英語につきましては、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6者でございます。

まず、「内容の程度」についてです。各者とも、外国語科の目標を達成することができるよう、生徒の発達段階を考慮した内容となっています。

東京書籍1年生54ページをご覧ください。調査員から「ステージアクティビティでは、複数の技能・領域を統合的に活用し、相手の意識を持った言語活動を行うことができる」という報告が上がっています。

三省堂では、部会から「サイズアップしていて読みやすくされている」という意見があります。

次に「組織・配列」についてです。各者とも、目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されています。

東京書籍では、調査員から「各ユニットのパート構成を同じにし、学習の流れを見通しやすくできている」という報告が上がっています。

教育出版の1年生21ページと28ページをご覧ください。調査員から「21ページではレッスンの冒頭に単元目標を示し、何ができるようになるかを明確にし、28ページではタスクで単元の目標に関連したやりとりや作文発表ができるように構成されている」という報告が上がっています。

啓林館の1年生54ページをご覧ください。調査員から「内容理解活動や発言活動は3つのステップを設定し、スモールステップで取り組むことができる」という報告が上がっています。

次に「人権の取扱い」についてです。各者とも、人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているものとなっています。

開隆堂2年生19ページをご覧ください。学校から「1年生でケニアの通学について、2年生でアフリカの甲子園、3年生でチョコレートの歴史が扱われ、発展途上国の教育について考えるきっかけとなっている」という意見があります。また、大阪府の選定資料には、「国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるように配慮されている。例えば、海外の学校行事やフィンランドの文化についての題材等が取り扱われている」と書かれています。

光村図書では、調査員から「個人の価値を尊重し、誰もが参加できる社会をつくろうとする姿勢を育てるように、登場人物などが配慮されている」という報告が上がっています。

次に「学び方の工夫」についてです。各者とも、英語によるコミュニケーションにお

ける見方・考え方を働かせ、主体的、対話的で深い学びが実現するよう工夫されています。

教育出版の1年生69ページをご覧ください。調査員から「グラマーページのレッツユーズでは、学んだ文構造や文法事項を含む対話文などを自由に入れ替え、ペアワーク等の口頭練習に取り組めるようになっている」という報告が上がっています。

光村図書の1年生144ページからの帯教材をご覧ください。調査員から「帯活動で利用できるスピーキング教材が活用しやすく配慮されている」という報告が上がっています。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。各者とも、学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、学んだことを実際のコミュニケーションに活用したりすることができるよう配慮されています。

開隆堂1年生141ページ以降をご覧ください。部会から「巻末にWord Webのページに、性格や感想、週末の過ごし方など、自己表現に役立つ英語表現がまとめられている」という意見があります。また、調査員からは「QRコードを読み取って学習できるコンテンツがあり、音声や映像単語学習に関するデジタルコンテンツが充実しているため、場所や時間にとらわれずに生徒のペースで自主学習することができる」という報告が上がっています。

三省堂1年生巻末資料18ページをご覧ください。調査員から「生徒がいつでも個別に参照できる資料を配置し、自律的な学習者を育成できるように工夫されている。巻末には、生徒の表現を支えるいろいろな単語など学びを振り返る資料もつけられている」という報告が上がっています。

啓林館では、調査員から「QRコードやURLを記載し、家庭でも音声や動画を使って学習できるようにしている。また、再生スピードは調整することができ、個別に学ぶことができる」という報告が上がっています。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。各者とも、小中での英語学習にスムーズに接続できるような内容が取り入れられています。

開隆堂では、調査員から「小学校では開隆堂が出版しているジュニアサンシャインが使われている」という報告が上がっています。

三省堂1年生7ページをご覧ください。調査員から「第一学年のスターターでは、小学校で学習した内容を復習したり、既に身に付けた力を確認したりすることで、小学校での学びと中学校での学びをスムーズに連携することができる」という報告が上がっています。

最後に、選定委員会の審議について報告します。選定委員会では主に、教科書のつくりや工夫などについて、意見が上がりました。

東京書籍は、新しい社会的な視点を取り入れた内容が面白いが、文章や読み物などの内容が多すぎるのでは、という意見がありました。

開隆堂は、導入の場面でシーンズという短い漫画があり、そこから本文に入る形に先生方が教え慣れているという意見が上がりました。

三省堂は、授業で学習する内容が見開きで提示されており、シンプルで扱いやすいことから、柏原市の教育に合っているのではないかという意見が出ました。

教育出版や啓林館は、余白があり、文字が少なくシンプルという意見がありました。

以上で英語についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございます。はい、いかがでしょうか。田中委員お願いします。

田中委員：東京書籍は内容が多いってというのは、これはいい意味なのかと思うと、ちょっと指導の方も、苦勞するんじゃないかという風な感じがしました。

開隆堂の方ですけども、先ほど、シーンズとかアクション、あるいはゲットレディとかレビューですかね、そういう色んな工夫をされて生徒自身が自己表現できるようなことをされているのではないかと、興味を持ちやすい内容になっているように思います。

三省堂も色々工夫をされていて、例えばシーン1、シーン2という形で、聞く、読むという、そういう順番にやっていくというところが進めやすいかなと思います。巻末資料もわかりやすく出来ているなど。この2者がよいと思います。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：開隆堂は全体的に遊び心があって楽しい内容になっています。アワープロジェクトでは、スピーチの作り方が書き込み式で、順を追って丁寧でなんとか作れそうと思います。プログラム始めのシーンズが漫画の表現で、表情豊かな絵とともに覚えやすいと感じます。また、会話の内容も楽しいです。各プログラムやページの構成も見やすいです。

三省堂は先ほど説明にもありました、1年生は初めのスターターの活動が楽しい内容で、新しいクラスメイトと仲良くなるきっかけになりそうです。デジタルコンテンツが充実していました。特に文法解説の動画が、先生が親しみやすく、よくわかります。家庭学習を助けてくれます。

光村図書は本のサイズが小さいのが扱いやすい。出てくるキャラクターたちの友達同士でいかにもありそうなストーリーが面白く、次の展開が気になります。イラストの表情もいいです。巻末に学年に応じた英語の学び方ガイドがついています。内容も親切でとても参考になります。この開隆堂、三省堂、光村図書の3者がいいんじゃないかなと考えています。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：外国語の、英語の教科書の文法の説明がどれくらいわかりやすいかっていうところを中心に見ました。

東京書籍さんは、先ほどから出ているように、やっぱりすごく最も教科書的な感じでたくさん文章があるので、文章が読みこなせていくと、とても力がつきそうですけれども、少し多いのかなという印象がありました。

啓林館さんは、他と比べて構成がシンプルで、少し字体が見にくかったり、色分けが見にくかったりするような印象がありました。

教育出版さんと光村図書さんが、サイズが小さいのが手には取りやすいという感じがありましたし、光村図書さんは先ほどあったような英語の学び方、私も実際に英語を活

用するイメージが湧きやすく便利だと思いました。で、開隆堂さんと三省堂さんが、英語の学習という点ではコンテンツが充実してるなという印象でした。

開隆堂さんは、目当てがチャプターごとにわかりやすく、英語の文法が早わかりというところがとても上手に視覚化されていました。巻末のキャンドゥーリストが、これはどうやって使うんだろうなという部分も少し感じました。

三省堂さんは、文法の説明が一部漫画もあってとっつきやすいと思いましたし、小学校から中学校に入った時に、先ほどのスターターの部分が非常に、英語を勉強するんだって意識が非常に高まりそうな感じで、小学校でやってた開隆堂のこうマンガチックな部分とは少し違う、わかりやすさというか、中学生らしさがあって、むしろいいなという風に思いました。あと、巻末の単語であるとか、辞書代わりに使えて、項目ごとにまとまっていて、文法、作文とかする時も便利だと思いました。私は三省堂さんか開隆堂さんが良いと思っています。

新子教育長：ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：はい。今の選定委員さんの話とか調査員さんの話を聞いて、東京書籍さん、開隆堂さん、三省堂さんについて少し意見を言わせてもらいます。

東京書籍さんですけども、内容が多いって話が出ましたけども、内容が多いので、少しちょっと教科書が見にくく感じました。写真が少なく、イラストが多くなっていうイメージ。家庭学習に使うことができるデジタル教材、これがあるのは非常にいいと思いました。

開隆堂さんですけども、3年生などは英語を学ぶだけではなくて、情報を得るように作られてあるので、その英語が情報を得るのに必要なツールであると感じさせるような作りになっていると思います。中村哲さんなど世界で活躍する日本人についても載せておられますし、マララさんの話なども写真とイラストをうまく使っていると思いました。小学校の教科書が開隆堂さんですので、子どもたちが使うのには慣れてるのかなと思います。3年生で長文の物語もあるので、長文の読解力もつくのかなと思います。

あと、三省堂さんです。3年生などはやっぱり英文の量が結構あるので、読み応えがあるのかなと思いました。学習する時期にあった話題が多くて、馴染みやすい構成になっていると思います。三省堂さんは英語の量は多く感じますけども、これぐらいは必要じゃないかとも思いました。3年生の72ページでしたか、公平とは何かっていうのが出てくるんですけども、日本語で知ってほしい内容が英語で扱われてるので、情報を得るツールとして語学が必要だということを感じさせる内容であるのかなと思います。やっぱり生徒が英語に興味を持てるか、生活の中で英語が使われていることをイメージしやすいか、生活と英語がやっぱり関連してるのかっていうような点を見ると、開隆堂さんか三省堂さんなのかなというふうに思いました。

あと、開隆堂さんをずっと柏原市は使っており、小学校も使ってるんですけども、柏原市は英語に課題があるので、教科書はあまり関係ないと思うんですけども、ちょっと教科書を変えてみるのも1つなのかなというのは少し思いました。

私は開隆堂さんか三省堂さんのどちらかかなというふうに思います。

新子教育長：はい、ありがとうございます。6者の方出していただきまして、ほぼほほみなさんの方からは、開隆堂さん三省堂さんが共通しておったんですけど、小中一貫っていうことからすれば開隆堂さんになるのかなと思うんですけども、三省堂の方が見開きであったり、あるいは調査委員会の方からは柏原市の子どもたちに合っているのではないかと、そういう風なご意見もありました。非常に迷うところですけども。太田委員が言われたように、確かに小中の課題を抱えていることもありますし、三省堂も上がっておりますので、三省堂さんで決めさせていただいてよろしいですか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、ありがとうございます。それでは、英語は三省堂さんということでお願いいたします。

5分ほど休憩を取りたいと思いますので、この時計で2時50分から再開します。

(休憩)

新子教育長：それでは再開します。次は美術でございます。川口指導主事、お願いします。

川口指導主事：それでは、美術について説明いたします。美術につきましては、開隆堂、光村図書、日本文教出版の全部で3者でございます。

まず、「内容の程度」についてです。3者とも「單元ごとに学習する領域や目標などが整理され、育成すべき資質・能力が生徒にも分かりやすい形で明確に提示されている」と大阪府の選定資料に書かれております。

日本文教出版について、美術1、21ページをご覧ください。「『短時間でつくる』のように弾力的な指導計画を可能にする短時間題材が設定されている」と調査員から報告があがっております。

次に「組織・配列」についてです。大阪府の選定資料には、開隆堂は「1年、2・3年の2冊で構成」され、日本文教出版は「1年、2・3年上、2・3年下の3冊で構成」され、光村図書は「1年、2・3年、美術資料1の3冊で構成」されていると書かれております。

調査員からは光村図書について「別冊の資料では中学校美術の学びに必要な、技法や色の資料などをまとめられていて、いつでも参照できる。また、目次が表紙に記載されている」との報告があり、学校からは「教科書と別冊資料を使って生徒の制作意欲を刺激する内容になっている」との意見があげられております。

次に「人権の取扱い」です。3者とも「人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取り上げられている」と大阪府の選定資料に書かれております。

光村図書について、美術2・3、70ページ、日本文教出版について、美術2・3上、42ページをご覧ください。「鑑賞のページで『ヒロシマ・アピールズ』が取り上げられており、戦争や平和について考えることができる」旨の意見が、学校や調査員からあげられております。光村図書について、美術2・3、81ページをご覧ください。教科部会から「ユニバーサルデザインの7原則がわかりやすい」との意見があげられておりま

す。また、別冊資料の33ページをご覧ください。調査員からは「カラーユニバーサルというワードを使って、色覚の多様性について学ぶページが設定されている」と報告があります。

次に「学び方の工夫」についてです。光村図書について、美術1、22ページをご覧ください。調査員から『鑑賞』として、鑑賞が深まる問いが示され、鑑賞作品には『POINT』の吹き出しを入れ、形や色彩、材料などの共通項目を意識できる問いかけが記載されている」との報告があります。

日本文教出版について、美術1、18ページをご覧ください。調査員から『鑑賞の入り口』で、学習のはじめに意識してほしい発問が提示、『造形的な視点』では、その発問に対する見方のヒントが示されている」との報告があります。

開隆堂について、美術1、14ページをご覧ください。調査員から「先生のキャラクターが掲載され、活動の中で気づいたり思いついたりするためのヒントが示されている」という旨の報告があります。

光村図書について、美術1、20、21ページをご覧ください。学校や教科部会から「QRコードとともに鑑賞を深める『体感ミュージアム』という鑑賞題材がある」旨の意見があり、調査員からは「一つの作品を様々な視点からじっくり鑑賞できる」との報告があります。

次に「補足的な学習・発展的な学習」についてです。光村図書については、別冊資料で、日本文教出版や開隆堂については、巻末資料で、「材料や用具、表現方法の特性などを取りあげ、学習した内容を確実に習得できるよう補充している」と大阪府の選定資料に書かれております。

光村図書について、美術1、8ページをご覧ください。「二次元コードにより読み取る資料の中で、作家や作品などの解説動画だけでなく、『作者のインタビュー動画』として作者である生徒の作品解説を視聴することができる」という旨の意見が調査員からあげられております。

日本文教出版について、美術1、63ページをご覧ください。「巻末の『学びを支える資料』のページ下部には、『もっと知りたい』とあり、探求心につながるキーワードが提示されている」と調査員からの報告があります。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。3者とも「小学校図画工作とのつながりを意識している」という旨の意見が学校からあげられております。

また光村図書について、美術1、17ページをご覧ください。調査員から「小学生のときの思い出を題材とした表現が紹介されている」との報告があります。

最後に、選定委員会の審議について報告いたします。光村図書について、「鑑賞活動が多く取り入れられており、資料の特徴として写真の大きさやQRコードの活用により、実物に迫るような掲載の仕方がされている。生徒の作品がうまく取り上げられ、チャレンジしようとする意欲が沸き立つ工夫がされていることが授業で活用しやすい」との意見がありました。

また、開隆堂について、「表紙が独特で質感にこだわっていることや、生徒にとって身

近な現代で活躍している人物や題材が取り上げられていることが特徴的である」との意見がありました。以上で美術についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございました。いかがでしょうか。田中委員、お願いします。

田中委員：3者とも折り込みや巻末の資料に工夫してありますね。ただ、その中でも光村図書の別冊資料、これはやっぱり使いやすいし、その都度活用できると。これが1番よかったですかなと思います。

あと、光村図書の巻頭の写真というか、表紙をめくった1ページ目ですね。生徒たちが自由に表現をしているので、これを写真撮影して、色々考えながらそれぞれこれから学んでいくことがいいなという風に思いました。他のいろいろな説明もありましたけども、この光村図書が一番適しているのではないかと私自身は思います。

新子教育長：ありがとうございます。近藤委員、お願いします。

近藤委員：光村図書は、2、3年生の日本美術の特集のページが、作品が豊富でじっくり鑑賞できます。ゲルニカや風神雷神を取り上げた体感ミュージアムのページが見応えがあります。ピクトグラムやお土産のデザインでは、QRコードで全国のものが見ることができます。知っているものがあったりして、デザインを身近に感じられます。別冊資料にある伝統色図鑑が、絵を描くのが好きな子の参考になりそうです。

開隆堂は表紙の質感にこだわった作りで、特にひまわりは間近で見ることの少ない油絵を感じることができます。2、3年最初の「私たちに身近な美術」では、燕子花図屏風の構図を参考にした漫画ジョジョの作品があり、美術の名作との繋がりが興味を引きます。

日本文教出版は「仕草で語る動物たち」「なぜか気になる情景」など、ページ初めの題材名が気持ちを引っつけます。作品作りにも活かしていけそうです。ページにある表現のヒントや造形的な視点は目に留まりやすく、内容が分かりやすいです。どれもとても良いのですが、光村図書は引っつけられるデザインのページが多いので良さそうだなと考えています。以上です。

新子教育長：ありがとうございます。西村委員、お願いします。

西村委員：美術を学ぶ内容がいろいろ見比べていると、どれも本当に素晴らしい作品が収められているんですけど、美術って芸術でもあり、文化でもあり、工芸デザインとすれば産業でもあり、社会問題もあるっていう、偏に絵を描くとか作るだけではないものにだんだんなってきたらいいんだなっていう風に、中学校の美術を改めて感じました。

光村図書は、風神雷神がよくある絵だけではなくて、像もあってすごく多面的に捉えているところがまず印象が良かったと感じました。先ほど、表紙の見開きに美しいという言葉とともに写真もありますけど、私は美しいっていう谷川俊太郎さんの詩の方がやっぱりすごく印象が入って、美しいっていう表現をすることから、伝えるっていうこともすごく重要視している教科書なのかなっていう風に感じました。吹き出しも分かりやすいと思いますし、目当てが明確で、手法もわかりやすく、解説も最低限で必要な分を非常に上手に取り入れてあるなというように感じました。

開隆堂は、新海誠さんとか岡本太郎さんとか荒木飛呂彦さんとか、アニメとか漫画を

題材にした非常にとっつきやすい内容でありますし、表紙もマットな感じがあり、独特な教科書だと思います。これはこれで、とてもいい教科書なのかなという風に思いますし、用具の使い方も見やすいと感じました。

日本文教出版もどこが悪いってわけではないんですけども、2年、3年の上下が別でない方がいいかなと思ったりはしました。教科書を見ながらいろんなヒントがあるかなと思ったりするので、2、3年をまとめている方がいいのかなと。どれも良い教科書だと思いますけど、光村図書がいいところがたくさんあるというように感じました。

新子教育長：ありがとうございます。太田委員、お願いします。

太田委員：3者それぞれいいと思うんですけども、日本文教出版は2、3年生が上下に分かれているのが特徴なんですけども、それがいいのかなっていうのはちょっと考えが分かれるところなのかな。非常に2次元コードが多いので、その辺はいいかなと。ただ、日本文教出版さんはページの始まり、割と説明文が多い印象を受けて、絵や写真で始まるんじゃないかと、文章で始まっている印象があるので、絵や写真をもうちょっと出だしに持ってきてもいいのかなという風に思いました。美術の教科書はやっぱりその子どもたちが生活の中で美術に親しんでいって、人生がより豊かになっていくような、そういう美術に興味を持つような内容がいいのかなという風に思いましたので、開隆堂さんか光村図書さんかなという風に思いました。

あと、開隆堂さんは先ほども出ましたすずめの戸締まりのイラストなどで興味を引くように構成されてますし、この表紙は非常に特徴的で、美術の導入としては美術の教科書らしい作りになってるのかな。デザインも興味が湧くように作られているのかなという風に思いました。あと、図画工作から美術に、小学校から中学校に変わっていくわけですけども、その小中の繋がりも意識して作られてるんだなという風なことも感じました。彫刻やデザインの説明も多く示されてますし、鑑賞分野も充実してるという風に思います。

光村図書さん、先ほど話に出ました美しいっていう谷川俊太郎さんの詩が表紙の裏に載ってるんですけども、その詩が載ってるところが、中学生が美しいを探してる場面なんですけども、何か他の場面の方がいいかなと感じました。

あと、光村図書さんは資料が別にあるので使いやすいという風に思います。風神雷神の写真なども先ほどから出てますように迫力があって、美術に興味を持つきっかけになるとは思います。二次元コードも非常に多いので、鑑賞するにも光村図書さんはいいのかなという風には思いました。ただ、美術の教科書として手に取ったり見たりした時に、どちらかというところ個人的には開隆堂さんの教科書がいいのかなという風には思いました。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。光村図書さん多かったですけれども、確かにこう見入るといえるか、さっと見るんじゃないかと、長く見るっていうんですかね、原寸大の作品が掲載してあるというところは、やっぱり光村図書さんが子どもたちにとってもいいかなという風に思ったんですけども、美術は光村図書さんでよろしいですか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、ありがとうございます。では、続きまして、保健体育を政塾指導主事からお願いします。

政塾指導主事：それでは、保健体育について説明いたします。保健体育につきましては、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研の4者でございます。

まず、「内容の程度」についてですが、大修館書店の教科書1ページをご覧ください。調査員や部会から「3ステップで構成されていて学習の流れがわかりやすい、学習の見通しが立てやすく主体的に学習をすすめられるようになっている」との意見があがっています。

次に学研の教科書20ページ、35ページをご覧ください。資料やコラムも豊富でわかりやすいと言った意見が部会から上がっています。

次に大日本図書の教科書16ページをご覧ください。調査員から「ミニ知識や発展などの読み物資料で、個に応じて学習内容を深めることができるようになっている」との意見が上がっています。また、選定委員の中では「リンク」マークでスペースをくまなくつかえており情報量が豊富である。心配蘇生法の内容を多く扱っており、全て写真であり、力を入れていることがわかる。との意見がありました。

次に「組織・配列」についてです。東京書籍の25ページ、37ページをご覧ください。調査員から「統計やグラフなど資料が新しいものが多く、時代に合った内容となっている」と意見が上がっております。また選定委員の中では図や写真を上手く配置され学びやすく見やすい構成となっている。との意見もありました。

次に「人権の取扱い」についてです。大修館書店の教科書39ページをご覧ください。調査員から「生殖機能の成熟の部分には、健康相談コーナーとして月経や夢精などについてのQ&Aがあり、生徒の不安や悩みに寄り添った内容になっている」と意見が上がっております。

次に「学び方工夫」についてです。大日本図書は単元の大切にしているところ、単元の切り替わりもわかりやすく、視覚的にも楽しさが感じられると学校から意見が上がっております。

次に学研は「章の扉では、自分の学んでみたいことを表現するスペースが確保されており、生徒の興味を引く内容になっている。学習と社会の関わりを示すことで将来についても関連付けて考えられるようになっている。とりくメーターで自分の学びの程度を振り返ることが出来るようになっている」と部会から意見が上がっております。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。大修館書店は「章のまとめで書き込み式の問題やまとめノートがあり、振り返りを行うことができる。『掘り下げる』がまとめの下部分に書かれてあったり、4問程度の保体クイズがあり、QRコードで内容について確認できるようになっている」と調査員から意見があがっております。

次に大日本図書をご覧ください。『活用して深めよう』でワンポイントアドバイスが記載され、学びが深まる工夫がみられる。アスリートのインタビューがあり、生徒が興味を持つよう工夫されている」と部会より意見が上がっております。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。調査員によりますと各者ともに「小学

校で学習すること」が記載されていて、学習の系統性が分かるようになっている」と書かれています。

最後に選定委員会の審議について報告します。東京書籍は、「異性への関心の高まり」と記載しても良い部分を「異性など他の人への関心の高まり」と記載され、ジェンダーに配慮されている。との意見が上がっております。

大修館書店は、見開きの真ん中に本文、周りに資料と見やすい。たばこの受動喫煙による健康被害について具体的に被害者数に触れられており、内容を掘りさげて書かれている。薬物乱用の部分では、中学生が薬物を所持という例などあり、自分たちに近い問題と考えさせたりするのに扱いやすそうという調査報告の内容から大修館書店が柏原市の教育にあっているのではないかという意見が出ました。以上で保健体育についての説明を終わります。

新子教育長：はい、田中委員お願いします。

田中委員：今の説明にもありましたように、大修館書店は具体的に中学生にとって身につけて欲しい内容について触れられており、いいかなと思います。さっきの受動喫煙、薬物乱用など。構成自体は、見開きの真ん中に本文、周りに資料というのが非常に見やすい、わかりやすい構成になっているかなと思います。あと、章のまとめで、問題も含めて主体的・対話的な学習もやりやすのではないかというふうに思います。大修館書店がいいかなと思います。

東京書籍はそれについて、いろんな情報も新しい情報データが記載されていて、生徒の興味をひく内容で構成されており、強調している部分もわかりやすく、表現されているかなと思います。大修館書店が1番で、東京書籍が2番かなと思います。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：東京書籍は、学習ページのはじめの見つけるが、自分の事として考えやすい問いかけが多いです。資料やページの使い方、色使いなどが洗練されており、見やすいと感じております。

大日本図書は、口絵部分にアスリートの写真が多く紹介されているのが興味を引きます。タバコ、薬物の誘い文句のところが多くのもっている場面のイラストがわかりやすく良いです。保健編の4章、『傷害の防止』は、手当や行動の手順など実践するのがとてもわかりやすく丁寧に載っています。

大修館書店は、教材ページの本文の見出しが課題に対しての答えになっていて、太字で要点がよく分かります。ストレスと心の健康では特集ページがあり、心の病気の例や相談窓口がわかりやすく載っています。はるな愛さんのいじめられているあなたへの文も良いです。109ページ、ネットワーク利用犯罪のページが詳しいです。加害者にもならないという注意があるのも大事です。この3つのどれかが良いかなと考えています。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：東京書籍は体育も保健も、特に体育がテクノロジーであるとか、情報の活用であるとか、今の時代にあった内容が目をつけたところがあります。で、ページの構成が写真と図をうまく使っていて、非常に読みやすいなと感じました。

大日本図書さんは、こういう健康であるとか体を動かすことが健康を守る社会の取り組みとして、1つの章にうまくまとめられていました。社会の取り組みとして考えている項目があったのは、大日本図書が1番大きかったと思います。とても大事な項目ではないかなと思いました。学研は、統計とかグラフが上手にまとめられていると思いますし、少し情報量が少ない、文字数が少ないのもあって、読みやすいかなという風な印象を持ちました。

大修館書店は、章はそれぞれまとめがあっているんですけど、1点ちょっと気になったのは、予防接種の欄の注意書きで副作用のことが少し書いてあるのが、書かなくてもいいかなっていう内容がちょっとあったので、私は少し気になったのと、詳しい内容が書いてある側にそこまで詳しくなくてもいいのかなっていう内容が少しあったので、そこだけちょっと気になりました。東京書籍が読みやすくっていいなと印象を抱いております。

新子教育長：はい、太田委員お願いします。

太田委員：それぞれの教科書うまく作られているなと思いました。大日本図書は割と色が鮮やかで、イラストとか写真が目に見える印象を受けました。そういう意味では、東京書籍さんは見方なのか、ちょっとなんか色目が暗いなという風にちょっと感じたんですけども。

あと、保健編と体育編、東京書籍は、保健編の方を前に持ってきて、体育編が後になってくるのが特徴なのかなという風に思います。子供たちが運動とかスポーツ、健康に興味を持てるような、そういう教科書がいいなと思ったんですけども、そういう意味では、私は学研か大修館書店なのかなという風に感じて見させていただきました。

学研なんですけども、1年生の体育、保健などは色分けされてて見やすく構成されるなという風に感じました。

ただ、見開きの2ページ目か3ページ目のスポーツには世界を変える力があるっていうのがあるんですけど、ちょっとなんかごちゃついてて見にくいなっていう印象を受けました。章のまとめの問題があり、より利用できるだろうという風に感じます。ウォームアップが学びに対する興味を引くようにうまく配列されていると思います。

大修館書店なんですけども、配列とか内容的にも他社と遜色なく構成されているなど。あと、体育理論と保健の内容がうまく関連付けられてるなという風に思いました。章のまとめ問題があるので、利用できるという風に思います。性の多様性についてそれぞれ書かれてるんですけども、大修館書店も性の多様性について色々書いてるという点は人権にも配慮されている内容だなという風に感じました。今までも使っている教科書なので、教員も使いやすいかなと思いますし、学研か大修館書店かなと思ったんですけども、どちらかと言えば大修館書店がいいのかなという風に思いました。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。ちょっと別れたというか、うん、学研なんかも今までは多かった。内容が濃くなってるっていうか、どの教科書もわかりやすく説明してあるんですけども、どうでしょう。大修館書店でよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、ありがとうございます。では、続きまして、音楽一般を政埜指導主事からお願いします。

政埜指導主事：それでは、音楽一般について説明いたします。音楽一般につきましては、教育出版と教育芸術社の2者でございます。

まず「内容の程度」についてです。教育出版の12、13ページをご覧ください。調査員からは、歌唱教材について、斉唱や重唱・合唱など多様な演奏形態が取り扱われ、1年生においては基本的な発声方法や変声期の対応も含まれており、発達段階に応じた教材が取り扱われているという意見が上がっています。

教育芸術社について調査員からは、教材で考えたいポイントや、どのような活動を行うべきかがわかりやすく例示されているとの意見が上がっております。

次に「組織・配列」についてです。教育出版について部会からは、「学習MAP」「学習の進め方」「どんな特徴があるかな」で、基礎的・基本的な学習内容に随時振り返ることができるように配慮されているとの意見が上がっています。

教育芸術社について、調査員からは、色遣いが多色過ぎず見やすさに工夫があるとの意見が上がっており、部会からは、楽譜や写真が見やすく良いとの意見が上がっております。

次に「人権の取扱い」です。教育出版について調査員、部会ともに鑑賞教材としては諸外国の多様な音楽文化が、歌唱教材としては平和の拡充を主題とした曲が取り上げられているとの意見が上がっております。

教育芸術社教科書1年64ページ、上70ページ、下56ページをご覧ください。調査員からは、アジア、世界の諸民族の音楽が収録されており、外国の音楽に触れ、他国の言語等の紹介もあり、工夫されているとの意見が上がっております。

次に「学びの工夫」についてです。教育出版について調査員からは、WEBコンテンツでは、歌唱教材の範唱や創作の参考動画、指揮や長唄の挑戦などの教材を使用することができるとの意見が上がっております。

教育芸術社1年36、37ページをご覧ください。部会からは「イメージと音楽」では映画音楽に焦点を当てて、音楽から得られるイメージと、音楽の特徴との関わりに注目して、音楽の持つ役割について考えることができるように工夫されているとの意見が上がっております。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。教育出版2、3年下58ページ、91ページをご覧ください。調査員からは、学習指導要領に示された事項以外の内容や、歴史的事象との関連を図ることで、発展的学習「音の三要素」「作曲家の生きた時代」「日本と西洋の音楽の歩み」「肖像で見る音楽年表」などが適切に配置されているとの意見が上がっております。

教育芸術社について調査員から「日本音楽入門」というページでは日本の音楽史について紹介されており、わが国の伝統や文化への関心や理解を深められるようになっており、3年間を使って1年38ページのレッツ！クリエイトでは、創作の楽しさと構成方法について示されており、創作に取り組みやすい流れとなっているとの意見が上がって

おります。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。教育芸術社について調査員からは1年生の教科書は、基礎的な内容が多く掲載されており、その多くは小学校で習った事の復習であり、基礎の定着が図られるとの意見が上がっております。

最後に、選定委員会の審議について、報告いたします。選定委員会の審議の中では教育出版・教育芸術社の二者ともに楽曲のページは充実している。見やすさも二者とも見やすいという意見がありました。教育芸術社は、二次元コードの数120個程度ある事からデータを生徒自ら拾いやすいという意見がありました。その他、1年生の旋律を作る単元で「音の繋がり方の特徴を生かして旋律をつくろう」をテーマに音の旋律が示されており、音楽の見方考え方が養われそうで柏原市の教育にあっているのではないかという意見がありました。以上で音楽一般についての説明を終わります。

新子教育長：はい、田中委員お願いします。

田中委員：大きな違いはわかりにくいんですけども、私が見させていただいた感じでは、教育芸術社の方が、補充発展的学習が豊富じゃないかなと感じます。日本の伝統楽器の編成とか、様々なジャンルのアンサンブル等のこの記事なんかに興味深く生徒にとっては迎えることができるんじゃないかなと思います。和楽器への興味関心を高める工夫がされてる、そういったところがいいなと思いました。先ほど説明ありましたレッツクリエイイトとかワークシートのところも学習しやすいんじゃないかなと思います。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：教育芸術者は、歌の各ページにピアノ伴奏のQRコードがあり、アクセスしやすく便利です。説明にもありましたイメージと音楽では、映画ジョーズのテーマが題材になっています。BGMの効果がよく分かり、興味が湧きます。2、3年の上のバッハとベートーヴェンの曲の鑑賞のページでは、楽譜上でそれぞれの作曲家の曲の特徴が一見してわかりやすく表現されていました。ポピュラー音楽ジャンルの相関図、ミュージカルの作品の紹介、反田恭平さんや上白石萌音さんのページなど、子供の関心を引くページも多くありました。

教育出版、創作活動の音のスケッチが各学年にあります。今人気の言葉やボイスパーカッションを使った表現で手軽にできる場所がいいです。CMソングを作るのもあり、生徒が興味を持って取り組みそうです。どちらもとても良いのですが、教育芸術社の方が楽しく学べそうなページが多いかなと感じています。

新子教育長：はい、ありがとうございます。他いかがですか。はい、西村委員お願いします。

西村委員：どちらの教科書も音楽に携わる人のお話が非常に興味深く配置されていて、音楽への関心が高まる教科書だと思いましたが、楽譜に関してはどちらも見やすいように作られていますけれども、教育芸術社の方が楽譜のバランスというか、音符と譜線の間隔であるとか、間の歌詞の大きさであるとかが少し読みやすい、見やすいように感じました。内容の歴史的なことであるとか、世界のことである、世界的なことであるとか、今時のコンピューターを用いた音楽の作り方であるとか、多岐にわたっている点が非常

にバラエティーに飛んでいるように感じましたので、教育芸術社の方がいいかなと思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：今、意見出ましたように、どちらも遜色ないと思うんですけども、教育芸術社の方は、やはり最初の、先ほども出ました上白石さんの言葉なんかで子供の興味を引きつけるように使っていたり、写真でうまく歌の情景を表してるので、子供たちがその歌に入っていくやすいのかなという風に思いました。あと、色々な種類の音楽が示されてると非常に見やすいかなと思ったので、教育芸術社の方がいいのかなと思いました。教育出版も、見開きの写真なんか、1年生の見開きの写真なんかも印象的ですし、興味を示す内容になっていたんですけども、教育芸術社の方が子供たちにとっていいかなと思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。柏原市は中学校で箏曲、箏を使った授業を結構やっているんですけども、子どもたちが学ぶというところでは、教育芸術社の解説の方が分かり良いかなという風に思いましたのと、皆さんのご意見からすると、教育芸術社の方で決めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、ありがとうございます。では、続きまして、音楽器楽を政埜指導主事からお願いします。

政埜指導主事：それでは、音楽器楽について説明いたします。音楽器楽につきましては、教育出版と教育芸術社の2者でございます。

まず、「内容の程度」についてです。教育出版32ページをご覧ください。調査員から「ギターは、多くの学校で取り入れられており、基本的なテクニック等が収録されている。したがって、指導しやすい」との意見があがっています。

教育芸術社は、奏法に関するQ&Aがあり、生徒がつまずきやすいポイントについて適切な説明がなされていると調査員と学校から意見があがっています。

次に「組織・配列」についてです。教育出版は、リコーダー、ギター等、打楽器の演奏について写真が豊富に収録されており、裏表紙にも見開きで収録されていて、学びやすいと調査員から意見があがっています。

教育芸術社34ページをご覧ください。調査員から「柏原市は箏を取り入れている学校が多い中、10ページ収録されており、系統的に学ぶことができる」との意見があがっています。

次に「人権の取扱い」です。大阪府の選定資料には2者ともに人権を尊重する観点から選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料など適切であり、生徒が多様性を意識できるような配慮がなされている。すべての生徒にとって使いやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや写真、イラスト、図など配慮されていると書かれています。

次に「学びの工夫」についてです。教育出版の30ページをご覧ください。調査員から各楽器の表現の仕方についてなど、知覚・感受したことを整理し、音楽的な見方・考え方を働かせられるように工夫されているとの意見があがっております。

教育芸術社は、和楽器奏者の方々からの専門家ならではのメッセージが掲載されており、和楽器への生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。と部会から意見があがっております。また、学校から「アルトリコーダーも順を追って生徒が学びやすく、ギャップにやさしい学びになっている。」との意見があがっています

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。教育出版は、巻末の「名曲旋律集」には、よく知られている曲のサビの部分の楽譜が載せられており、発展的な学習に利用できるように工夫されていると、調査員と部会から意見があがっております。

教育芸術社は、様々なジャンルのアンサンブル曲が多く載せられていて、生徒の興味・関心を引き出すことができると部会から意見があがっております。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。教育出版は、音のスケッチという義務教育9年間で一貫して実践できる創作活動のページにより、学習内容の系統性が確保されていると部会と学校から意見があがっております。

教育芸術社10ページをご覧ください。小学校で学習したソプラノリコーダーの基本的な構え方などの奏法に加えて、さらに詳しく楽器の歴史的背景やチューニングなどについて丁寧に説明されていると部会から意見があがっております。

最後に、選定委員会の審議について報告いたします。教育出版、教育芸術社2者ともに楽器の歴史、構え方、名称などそれぞれ押さえられているという意見が上がっていました。教育芸術社は、ギターコード表がイラストで示されており見やすい。二次元コードの数が多く、パート練習などする際に便利との意見が上がっており、柏原市の教育にあっているのではないかと意見がありました。以上で音楽器楽についての説明を終わります。

新子教育長：はい、ありがとうございます。田中委員、いかがですか。

田中委員：教育芸術社書は、今説明にありましたソプラノリコーダーの姿勢、構え方などかなり詳しくわかりやすく説明してありますし、教育出版と教育芸術社、比べてみると教育芸術社の方が全体的に印刷も大きく見やすく、理解しやすいかなという風に思います。で、選ばれている曲も、例えば68ページの小さな恋の歌ですかね、これなんかもう今流行っている曲ということで、興味を持って学習できるかなと思います。そんなに大きく差はないんですけども、そういう意味で教育芸術社の方でいう風に思っております。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：教育芸術者は、リコーダーアンサンブルのページには伴奏のQRコードがあり、気分よく自主練習ができます。先ほど田中委員もおっしゃった、バンドスコアの一部が載っています。目にする機会が少ないので興味を引きます。最後の資料でギター、キーボードのコード表が指押さえ位置が分かりやすく親切です。リコーダーでは練習曲に応じてアンサンブルのコツや高音、低音の出し方の説明があり、役に立ちます。

教育出版、各楽器、演奏方法の写真が多く、わかりやすいです。練習曲の数もたくさんあります。短いものも多く取り組みやすいです。どちらもとてもいいのですが、教育芸術社のQRコードが使いやすそうだなと思います。教育芸術社が良さそうかなと思います。

ます。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：構成が少しずつ違うんですけども、先ほどのそうであるとか、レコーダーの説明であるとか、ギターの方も写真よりイラストの方がわかりやすい。器楽の教科書としては、分かりやすさという点では教育芸術社の方がいいかなと思いました。楽曲も色々、それぞれはどちらの会社も教科書もバラエティに飛んでるところがあって、教育芸術者だったら笑点のテーマが入っていたりとか、非常にクラシックだけではもちろんなくて、幅広い選択がされてます。それは、教育出版も一緒なんですけれども、分かりやすさという点では教育芸術社の方がいいのかなと思います。

太田委員：ギターとかの種類に関しても、教育出版の方はクラシックギター中心に載せてるんですけども、種類なんかは教育芸術社は他のギターの種類も載せておられますし、レコーダーに関しても教育芸術社の方はいくつかの種類を示している。教育出版の方も見開きのところでそういうのも出てるんですけども、レコーダーの欄でレコーダーのそのいくつかの種類が示されてるっていう。そういう意味では、教育芸術社の方が深く示されてるのかなという印象を受けますし、子供たち、器楽のところで演奏、いろんなギター演奏したり、笛吹いたり、箏を習ったりするんですけども、そういう点では教育芸術社の方が学びやすいかなという風に感じました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。それでは、音楽器楽は教育芸術社でいきたいと思えます。続きまして、数学、浦瀬指導主事お願いいたします。

浦瀬指導主事：それでは、数学について説明いたします。数学につきましては、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」のうちの「内容の程度」についてです。東京書籍2年の18、19ページ、付箋番号1をご覧ください。調査員より、「特に、必ず解けるようになってほしい問題にはハートマークがついていて、内容の理解を確実にしてからほかの問題に取り組めるようスモールステップで段階的に難易度があがるように構成されている」と意見が上がっています。同じく、東京書籍3年12ページ、付箋番号2をご覧ください。学校より「楽しくスタートできそう」という意見がありました。

学校図書1年34ページ、53ページ、付箋番号3をご覧ください。部会より「計算力向上のための問題が記載されている」という報告が上がっています。同じく、学校図書2年95ページ、または3年71ページ、共に付箋番号4をご覧ください。学校より「環境問題や自然現象など身近な問題に関連付けて研究などができる内容である。」という意見が上がりました。

数研出版2年122、123ページ、付箋番号5をご覧ください。調査員より、対話形式で展開していたり、多様な考え方を提示したり、誤答を提示したりして、数学的にとらえ、説明する力をつけている」という報告があります。部会からは、「問題の量も内容の程度もちょうど良い」、学校からは「問題の数も適量だと思われる」「基礎的問題・標準的問題の記載が多い」という意見が上がっています。

日本文教出版2年54、55ページ、付箋番号6をご覧ください。学校からは、「例、問まとめが見やすい」、部会からは「各ページ大切な個所やポイントとなることを枠で囲ってあり、わかりやすく良い」という意見が上がっています。

次に「目標、内容の取扱い」のうちの「組織・配列」についてです。各者の巻末、付箋番号7をご覧ください。大阪府の選定資料では、東京書籍では1年生の巻末、大日本図書・教育出版・数研出版・日本文教出版では1年及び3年生の巻末、学校図書では各学年の巻末、それぞれ具体的な体験を伴う学習活動を支援するための、切り取って使用する教材が用意されていると、書かれています。尚、啓林館の巻末には学習内容をふり返ったり深めたりする「数学広場」が配置されていると書かれています。次に「目標、内容の取扱い」のうちの「人権の取扱い」についてです。調査員からは、どの教科書においても「誰もが学びやすいユニバーサルデザインになっている。」と報告が上がっています。

大日本図書1年240ページ、付箋番号8をご覧ください。調査員より、「外国にルーツのある生徒を登場させ、多様性を認め、異文化への理解を深めている」という報告があがっています。日本文教出版1年116ページ、こちらも付箋番号8をご覧ください。部会より、「登場人物が国際的になっている」という報告がありました。

啓林館1年141ページ、同じく付箋番号8をご覧ください。同じく部会より「多国籍な登場人物を出すことで人権問題への配慮を感じる」という意見が上がっています。

次に「学び方の工夫」についてです。大阪府の選定資料には、全者について「各ページの二次元コードからアクセスできる各コンテンツに、生徒一人ひとりの学習状況に応じた問題が用意されている。」と書かれています。東京書籍1年21ページ、付箋番号9をご覧ください。調査員より、「ほぼ全てのページにQRコードがついており、デジタルコンテンツが充実している」と報告が上がっています。また、学校より「動画教材が良い」という意見がありました。

教育出版2年144、145ページ、付箋番号10をご覧ください。調査員より「小の問題には◎○△で自分の理解度を自己評価したりすることができ、俯瞰的に捉えることができるようになっている」という意見が上がっています。

数研出版1年170ページ、付箋番号11をご覧ください。調査員より、「RPGゲーム風の宝探しの要素があり、意欲的にどのように作図すればよいか学べる教材になっている。」という意見が上がっています。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。啓林館3年158から161ページ、付箋番号12をご覧ください。学校・部会・調査員からともに「章末に問題のページが4ページあり、充実している」という意見が上がっています。

教育出版1年の326、327ページ、付箋番号13をご覧ください。部会より「索引に英語表記も記載されている」という報告があがっています。

数研出版3年254ページ、付箋番号14をご覧ください。部会より「数学に関する職業について紹介するページがある」と報告があります。

教育出版1年106ページと大日本図書1年200、201ページ、共に付箋番号14もご確認ください。部会より「実社会で活躍する人物による数学の活用を紹介し興味

がわくよう工夫がある」という報告があります。

大日本図書2年の巻末、付箋番号15をご覧ください。調査員より、「巻末の図形のまとめがわかりやすい。巻末のまとめが携帯できるようになっている」との報告があがっています。

最後に「幼小中一貫教育の観点」についてです。東京書籍の3年232ページ、付箋番号16をご覧ください。部会より「3年生の巻末付近に学びのマップとして3年間の内容が系統的に示されている。学習の系統性が記載されている」という報告が上がっています。学校からも同様の意見が上がっています。

数研出版の1年292ページ、付箋番号17をご覧ください。調査員より「1年の巻末に算数の内容をまとめて確認できるようになっている。小学校から中学校、高校まで見据えて、数学の系統性が意識できるような構成になっている。」という意見があります。

啓林館の表紙や1年48、49ページ、付箋番号18をご覧ください。部会より「表紙のイラストが数字になっている。細かい部分でキャラクターが小学校の内容をふり返りしているところが良い」という意見が上がっています。

最後に、選定委員会での意見についてです。「誤答や多様な考え方を提示したり、学んだことを活用する問いが設けられている数研出版は、思考力、判断力、表現力の育みにつながりやすそうである」との意見がありました。そして、『考えてみよう』から始まり、例、問い、そして『考えよう』に繋がる単元構成をとっている東京書籍は、教科書が見やすく、学びの過程がわかりやすい」との意見がありました。また、「数研出版、東京書籍ともにQRコードが多くあり、デジタルコンテンツの充実が伺える」との意見がありました。以上で数学についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございました。田中委員、お願いします。

田中委員：それぞれいろんな工夫がされているのが、今の説明でよくわかります。その中でも基礎基本を大切にしている2者について、それと問題量が豊富であって、デジタルコンテンツでうまく繋げているところで、東京書籍と数研出版ですかね、この2者についてコメントしたいと思います。

東京書籍につきましては、先ほどありましたように、3年生の学びのマップとか、あるいは深い学びのページとか、学びを振り返ろうとか、そういういろんな主体的学習につながるような構成を捉えているのいいかなと思います。あとは、数学の窓とか、そういったところも興味を持たせる内容かなと思います。

それから、数研出版につきましては、こちら基礎、基本を大切にしている点、基本問題、標準問題の記載が多いということ、それから、さらに発展学習として、チャレンジ編として、例題や問いがわかりやすく説明されているという点、また、いろんな種類の問題が豊富に揃えられているというところがいいかなと思います。全体の中で、生徒のキャラクターですかね、これが非常に問いかけとかうまくわかりやすく、生徒にとって興味を持てるような構成で、本当に取り組みやすいかなという風に思いますので、数研出版が一番いいかなというふうに私は思います。以上です。

新子教育長：ありがとうございました。近藤委員、お願いします。

近藤委員：多くなりますが、4つ候補に挙げます。啓林館、章末問題の解答が途中式も詳しいです。解説動画がとてもわかりやすく、家庭学習の味方になります。身の回りの場面から問題が出されていて、数学的な考えを意識させてくれます。

東京書籍、考え方のヒントがキャラクターの吹き出しになっていて、目に止まりやすいです。書体や色の使い方に理解をしやすくしてくれる工夫があると感じます。身につけたい基本的な問題として、ピックアップしてあるハートマークの印やクイックチェックの問題があり、取り組みのハードルが低くなって嬉しいです。

学校図書、解説の表示方法が分かりやすいです。解答が手書き風なのも見やすく参考になります。説明する力をつけようでは、生徒たちの対話が理解を助けてくれます。デジタルコンテンツの教科書アドバイザー「マスマス！」は、分数やルートなど複雑な数式が手書き入力で質問できるので使いやすそうです。

数研出版、余白が多くすっきりとして、図や数式が見やすいです。手書き風の解答例で見やすく、複数解答例が載せられているのがわかりやすいです。式の計算では、青枠で囲ったポイントが目にとまりやすく、振り返りやすくなっていると思いました。以上の4つがいいなと思いました。

新子教育長：ありがとうございます。西村委員、お願いします。

西村委員：はい。私も4者になります。4者でちょっと比較しました。東京書籍さんは、それぞれちょっとたくさん項目があったので、方程式から関数、そして座標という項目にちょっと絞って比べてみました。直感的にすぐ理解できることは、もう基礎的な事柄をすぐに応用できますけれども、なかなか身につかないお子さんとか、幅広い理解の子にどれだけ対応できそうかなというところへちょっと見ていたつもりです。

大日本図書は、章の初めの見開きで、例えばトラックをこう分解して、その中で数学的なことをどうやって関連づけるかっていうことが非常に具体的で、身近な班の数を分けるとかということがイメージしやすいという風に感じました。スタートラインの位置を決めるにはどうしたらいいだろうとか、そういうことを式と計算から求めるとか、そういう感じの内容だったと思います。問題数は少し少なめかなという風に感じました。

啓林館は、先ほどあったように、章末問題とか確かめとか、演習の数が豊富で数学の演習としては十分な感じがしますし、図が綺麗です。差し絵のイメージがあるのもわかりやすくいい面もありつつ、ちょっと数学的でない差し絵も多いので、これはいいよな、そうでないよなと言う感じもしました。

東京書籍さんは、例えば移項のことであるとか、文章を多く説明してあって、分かりやすいところもありますが、逆に文章を読解する必要があるかなという風に感じました。

比較しまして、数研出版さんはそこら辺が割とシンプルに図示しながら説明してまして、移項から方程式を上手に使って関数の方に持っていくという流れが非常にスムーズだったという風に感じましたし、学習の前で振り返りがあったり、あと、方眼グラフが大きくて分かりやすく、数学にちょっととっつきにくい中学1年生が、数学の面白さに気づくことができそうな気がします。数研出版がいいかなという風に思いました。

新子教育長：ありがとうございます。太田委員はいかがですか。

太田委員：はい。教科書、今、話が出たように子供たちはどうしても数学に苦手意識を持つので、日常生活とも繋がってるよっていうことを意識したような教科書がいいかなという風に思いました。最終的に4つに絞ってちょっと述べさせていただきます。

大日本図書さんです。どの学年にもそれぞれ日常の生活と関連づけて内容が出てくるんですけど、1年生でしたら数の広がりの説明が生活にも繋がる、そういう数学を意識している内容になってるなと思いましたが、今もお話のありました2年生では、スタートラインの位置の問題なども学校でもトラック引いたりしますので、生活に密着してるように構成されてるなと思いました。3年生でも、花壇の面積も、簡単な問題も生活の中の数学を意識して内容が作られてるなと感じました。

あと、教育出版さんですけども、単元の変わり目が分かりやすくて学びやすい配列になってるかなと思います。あ2年生の教科書では、これも誕生日を当ててみようっていう導入なんかは、楽しく学べる工夫がされていて面白いなと感じました。

東京書籍さんです。先ほど選定委員の意見にもありましたけども、3年生のドミノ倒しの速さの計算など、これも生活に繋がってるなということ、学びのマップの補充問題などは学習を深めるのにとってもいいと思いました。振り返りの色が変わっていて、わかりやすく構成されてると思います。デジタルコンテンツは非常に充実してるなと思しました。

数研出版さんです。全般的に文字が大きく見やすくて、写真や図・表をうまく配置し、興味が持てるようにされてるなという風に感じます。1年生の教科書の1番最初の項目ですけども、正の数、負の数のところで、数学の1番最初のところで、サッカーの写真であったりとか、花壇でワールドカップの順位表、それから海拔とか気温、ここで正の数、負の数を日常生活に結びつけてるっていうところがいいなという風に思いましたし、1年生の170ページ、先ほども出ましたけども、やっぱりゲームなんかと関連づけてるっていうのもいいなと、子供たちにとっても親しみやすいかなという風に思いました。あと、図形のところ、数研出版さん、190ページに図形のところが出てたんですけども、同じような写真が東京書籍さんにも出てるんですけども、数研出版さんの方がページをまたいで大きく取り上げられていて、子供たちにとっては一定大きくした方が理解しやすいのかなという風に思いました。

小学校からのつながりを意識したまとめで、どういうことを学んでるかっていうのがずっと出てきてるっていうのは、これを見れば思い出したりするので、このまとめはうまくされてるなと思したので、東京書籍さんか数研出版さんのどちらかだと思いましたが、どちらかと言えば数研出版の教科書が子どもたちにとってはいいかなということをおもいました。

新子教育長：ありがとうございます。皆様のご意見の中で、内容・量とも数研出版さんがちょうどいいなと、文字の大きさ、見やすさもいいな、余白もあってスッキリしているという風なご意見もありましたし、引き続き、数研出版と言うことでよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：ありがとうございます。そうしましたら、時間となりましたので、残り半分
まだあるんですけども、以降は次回にしたいと思います。今日は8種目終わりました。
1週間後の水曜日、7月31日、同じく1時30分からということによろしいでしょう
か。

委員全員：はい。

新子教育長：ありがとうございます。本日の案件は以上でございます。ご協力ありがとう
ございました。それでは第7回定例教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員